



子ども大学かわごえ

CUK だより

第 59 号 NO.141115
2014 年 12 月 17

子ども大学かわごえ 第 7 期 第 4 回 授業記録

日時 : 2014 年 11 月 15 日(土) 14:00~16:00

場所 : 東京国際大学第二キャンパス

テーマ : なぜ戦争が起こるのか?

講師 : 東京工業大学 池上彰 教授



世界で戦争が無くならない。世界各地で戦争が起きて、大勢の人達が亡くなっている！

1. なぜ戦争が起きるのか？(学生への質問)

- ・領土を広げたい・・・どうして？ \Rightarrow 自分の住んでいるところが広がって便利になるから。
- ・誰も住んでいない島を欲しがっている人がいる。
- ・領土を広げると、漁業や石油の利権(使用権利)を得ることができるから。
- ・自国の工業を発展させたい・・・戦争で勝って賠償金(ばいしょうきん)を得て工業を発展させる！
『経済戦争』という言葉もある・・・実際に武力で戦争していない戦争 / 池上先生
- ・同じ国の中で対立が起きて戦争になる・・・同じ国内でも思想の違いがある。
- ・欲と欲のぶつかり合い・・・欲とは？ \Rightarrow お金、食糧、領土など
- ・食糧の奪い合い・・・兄弟でも奪い合う。生きるために。
- ・強い国が弱い国を侵略する(せめる)。
- ・石油資源の奪い合い。
- ・内戦・・・農業を巡った国内戦争



論拠

戦争をする場合、論拠(ろんきょ)を示さないと人がついてこない。

皆は他人に何かを説明するとき、無意識に論拠を使っている。

自分の考えを相手に実行してもらためには『論拠』が必要

石油や領土を巡っての奪い合い・・・領土とエネルギーの利権(使用権利)を得ることが国益(国の利益)

- ・エネルギー(原油) :
灯油、軽油、ガソリン、重油、ナフサ(プラスチックの原料)・・・生活に必要不可欠
- ・重油が無いと火力発電所が動かせない。
- ・ガソリンが無いと車が走れない。軽油が無いとトラックが走れない。

コンビニに商品の補充もできない。

石油以外のエネルギーは？

- ・食用油・・・人を動かすエネルギー
- ・電気（エネルギー）

原子力発電所 → 棒状に加工した濃縮ウランの燃料棒やプルトニウム（ウランの変化した物。自然界には存在しない）をエネルギー源とする

火力発電所 → 石油、石炭、天然ガスがエネルギー源

- ・メタンハイドレード・・・ガスが氷と一緒に固まった物。次世代エネルギーの有力候補。
- ・ソーラー発電・・・太陽
- ・風力発電・・・風のエネルギー
- ・波力発電・・・潮流のエネルギー
- ・地熱発電・・・マグマ熱：日本は火山国だから有利



2. 戦争の要因（げんいん）

領土、エネルギー、考え方（思想・宗教）

昔は領土を巡っての争いが多かった。

日本では領地を多く持つ大名が強かった。加賀百万石（石=石高：米の収穫高）
（肥沃な）土地が広げれば畑も沢山作れる → 食料が沢山作れる。

最終的には食べ物の争いに集約される。

食糧・・・主食、

食料・・・主食以外の食べ物

食べ物を作るには？・・・土地、太陽、水が必要

古来、水を巡って争ってきた。『我田引水』・・・自分の都合の良い田へ水を引き込むこと。
欲望・

→ 主食 日本・・・米
 米国・・・パン、トウモロコシ
 ドイツ・・・ジャガイモ

人は根本的に豊かになりたい、生きていたい思想がある。

その思想がどんどん広がって色々な戦争要因になる。

名誉欲も原因となる

- ・・・名誉欲が強くて戦争に勝つことだけしか考えない。こういう指導者がいると戦争が避けられない。

3. イスラム国はなぜ人を殺すのか？

考え方・思想・・・宗教の違い=宗派間同士の争い → 日本では無いが海外には一杯ある。

中東 ここでは宗教がトラブルの原因となっている。

イスラエル/パレスチナ紛争

ユダヤ教とイスラム教の宗教の違いに領土の問題がからんで難しい争いになっている。

宗教戦争 2000年前にユダヤ人が住んでいたが
パレスチナ人に追い出された。
第二次大戦後にユダヤ人が戻って来て
パレスチナ人と戦争になった。
【領土を巡っての争い】



ゴラン高原が争いの焦点となった

→ ここを制すればヨルダン川とガリラヤ湖を制圧できる。
尖閣諸島・中国は名誉にかけて後に引けない。領土問題や石油・漁業権益で指導者が日本に譲歩すると国民から非難される。

4. どうすれば戦争を無くせるか？(学生への質問と答え)

- ・領土紛争地の真ん中を空白地帯にすれば良い。…領土問題があるから真ん中が決まらない。
- ・尖閣諸島は日本にも中国にも帰属しないようにする。
- ・世界をひとつの国にまとめたら良い。
 - …言葉・思想(宗教)・生活習慣など色々な違いがあるから難しい。
- ・世界の国々をひとつにして、再度公平に分割したら？
 - …分割するから戦争になる。どうやって分割するか？
- ・世界をいくつかのグループに分ける。世界を似た国同士のグループに分ける。
- ・第三者の国が紛争国同士の間に入裁に入る。
 - …第三国が中に割って入れない。
- ・同盟を作る。
- ・各国の代表が集まる会議を作る。
- ・紛争国同士の争っている領土は国際連合の物とする。
- ・紛争中の島を二つに分割すれば良い。
 - …分割する時にまた争いになる。では紛争地は共同統治にしては？
- ・国と国で食料を融通し合う。…食料が豊かな国が食料の足りない国へ食料を渡す。



これらに関する学生たちのディベートについて池上先生のご意見：

ポイント

他人に論説して納得させる技術を身につけて欲しい。
意見を書き出してみる…無理なことは無いかな？
子供は大人では考え付かないアイデアが出る…大切だと思う。



国と国で食料を分ける…貿易

1930年代…世界不況

国内にお金が無くなったので、他国から物資が入らないように輸入品に高い関税をかけた

→ 貿易を止めたら多くの国が更に貧しくなった。

→ 経済の縮小均衡(だんだん縮んでいく)第二次世界大戦の原因となった。

第二次世界大戦後の動き

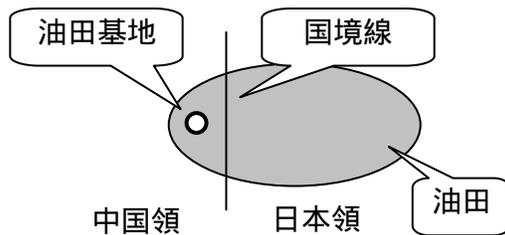
高い関税(輸入品に対する税金)を廃止するため GATT(関税及び貿易に関する一般協定)を作った。戦争を無くすためにできた国際機構だが今は無く、WTO(世界貿易機関)へと引き続き発展し、現在自由貿易の促進をはかっている。



領土争いをしている島を二分した事例

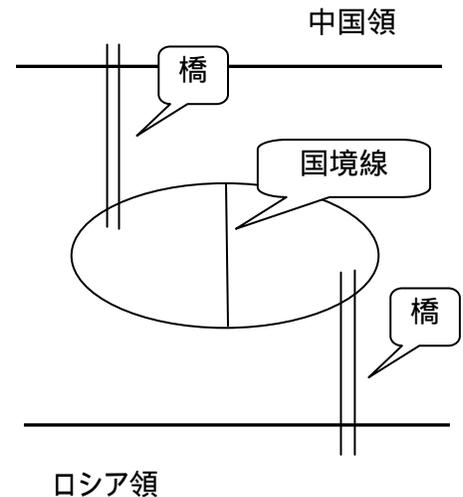
ロシアと中国(=プーチンと胡錦濤)…国境の川の中にある領土争いをしている島を二分した。

天然ガスの利権問題



海底油田の日中共同開発計画があるが、最近日中間の仲が悪いので、中断されている。油田が海底で繋がっているため、ほっておくと中国側に全て資源を取られてしまう。日中トップ同士の信頼関係が必要！

領土問題



国際連合

国連があるから解決した問題がある。 } 国連の重要性を認識
しかし解決しなかった問題もある。 }

同盟を作る方法

EU：欧州連合・・・ヨーロッパは古来戦争が多かった。
国境を無くしてヨーロッパをひとつにする。
最終的に欧州合衆国にしたい。
EU内の二国間移動は入出国のスタンプを押すだけ。
戦争を無くすアイデアが今のところ上手いっている。
通貨：ユーロ(色々な問題はありますが進んでいる)



世界をひとつに

国民・・・国民一人ひとりの顔が思い浮かばない } 信頼関係が無いと上手くいかない。
友人・・・一人ひとりの顔が分かる 戦争したいと思わない }

5. まとめ

- ・国民一人ひとりが世界の人と仲良くなると信頼関係が生まれやすい。
- ・国民一人ひとりのレベルで他国の人と仲良くなるべき。
- ・日本に観光に来た中国の観光客が親日になって中国に帰ると、地元で日本の良い宣伝をしてくれる。
- ・日本を訪れた外国人に親切にしよう。そうすれば日本の信頼が上がる。
- ・日本ファンを世界中に増やすべき。
- ・これから益々国際化が進む。日本を訪れた人の中に外国のリーダーになる人がいるかも知れない。
- ・色々な人たちの努力によって、徐々に戦争は減ってきている。
- ・国民一人ひとりのレベルで世界の人に親切にしてあげて欲しい。

以上

学長 遠藤克弥

事務局

NPO法人子ども大学かわごえ

〒350-1109 川越市霞ヶ関北 3-12-6

霞ヶ関北自治会館内



H-P <http://www.cuk.or.jp>

TEL 080-2053-2991 (事務局直通)

FAX 049-233-1640F

E_MAIL info@cuk.or.jp

